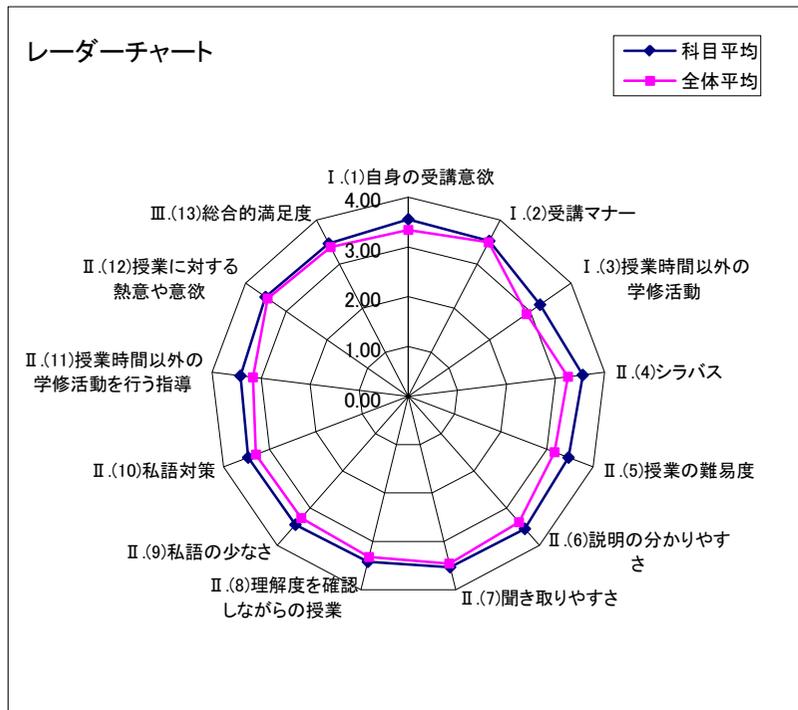
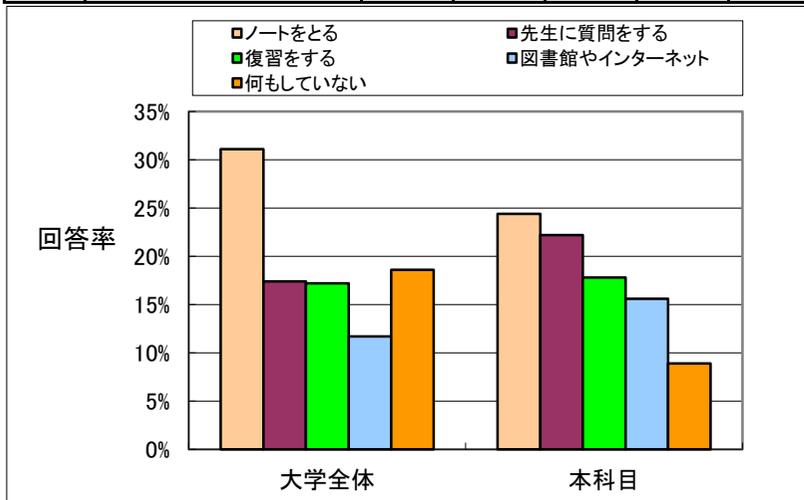


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14)	授業を理解するための工夫	24.4	22.2	17.8	15.6	8.9



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.56	3.34
	I.(2)	3.52	3.49
	I.(3)	3.24	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.56	3.26
	II.(5)	3.47	3.16
	II.(6)	3.56	3.38
	II.(7)	3.53	3.46
	II.(8)	3.42	3.32
	II.(9)	3.44	3.27
	II.(10)	3.47	3.30
	II.(11)	3.42	3.17
	II.(12)	3.51	3.46
	総合評価	III.(13)	3.47

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.44	3.25
講義内容・方法 II.(4)~(12)	3.49	3.31
総合評価 III.(13)	3.47	3.39

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2012年度 後期
時間割番号	1407
科目名	簿記の仕組みとビジネス/会計入門
教員名	

①授業計画の達成度について

本講義の目的は現実の会計を理解するための入門・基礎知識の習得である。主に会計用語や簿記システムについての講義であったが、現代的な雑誌や新聞記事、就職用のSPIの問題を交えた演習など、授業において多くの資料のプリントを配布した。この結果が数字に表れたものと思われ、授業の目的は達成されたと思われる。学生に理解度と興味についてよくアンケートを取ったり、学生との対話を心がけたこと、小テストを実施したことも授業運営に良い貢献をしたと思われる。

②授業の進め方について

マイクを用いずに大きな声で明瞭に説明したことが良かったことが、「講義内容・方法」の設問7・8の数字に現れていると思われる。これは学生の満足度も高く、学生も難易度は適切と思っているようである。まじめな学生は留学生に多く、学生の表情を見ながら言葉を言い換えるなどして授業をすすめたことは、日本の学生の理解にも功を奏したと思われる。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

設問の全ての数字が全体の平均を上回っており、普段からの学生から聴取している授業の印象を表していると思われる。学生に対しては出席を継続することを要求し、多様化する学生に対するために、本学独自の事情をより分析・理解し、組織的に教員間で検討する必要がある。毎回の授業においてもそれなりの評価を得る努力は必要であり、学生の意見を聞きながら授業を改善することになる。